

平成 29 年度 第 2 回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	平成 29 年 8 月 31 日（木） 13:30～15:10	
開催場所	二宮町町民センター 2 階 2 A クラブ室	
出席者	委員	出席者 17 名（うち代理出席 4 名）、欠席 3 名
	その他	傍聴 2 名
	事務局	政策総務部 4 名、都市部 2 名、健康福祉部 2 名
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) デマンドタクシーを休止する証明書発行について (2) 平成 29 年度歳入歳出予算の補正について (3) 二宮町生活交通確保維持改善計画（案）について (4) 二宮町地域公共交通計画（中期施策素案）について (5) 乗り支える仕組みについて 1 コミュニティバスのラッピングについて 2 ニーノ手形、ミーヤ手形の導入について 3 乗り支える仕組みとの連動について (6) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏 名	所 属	出欠	備 考
1	長尾 秀美	二宮町	○	
2	吉野 茂	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	相模中央交通株式会社	○	代理（杉崎）
4	山崎 利通	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	露木 幸一	一般社団法人神奈川県タクシー協会	○	
6	飯島 貴夫	二宮町地区長連絡協議会	×	
7	芳賀 真郎	二宮町老人クラブ連合会	○	
8	三田 哲也	二宮町 P T A 連絡協議会	×	
9	柳川 駅司	二宮町議会	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	依田 久司	一般公募	○	
12	小松 和則	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
13	安達 敏行	神奈川交通運輸労働組合	×	
14	小内 薫	神奈川県平塚土木事務所	○	代理（五十嵐）
15	福島 温	神奈川県県土整備局	○	代理（前田）
16	成川 一	二宮町都市部	○	
17	伊澤 浩明	神奈川県大磯警察署	○	

18	永井 好紀	J R 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	代理 (今井)
19	大森 宣暁	宇都宮大学大学院地域デザイン学部社会基盤デザイン学科	○	
20	小椋 淳喜	二宮町健康福祉部	○	

議事概要

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

- (1) デマンドタクシーを休止する証明書の発行について
- (2) 平成 29 年度歳入歳出予算の補正について
- (3) 二宮町生活交通確保維持改善計画 (案) について
- (4) 二宮町地域公共交通計画 (中期施策素案) について
- (5) 乗り支える仕組みについて

- 1 コミュニティバスのラッピングについて
- 2 ニーノ手形、ミーヤ手形の導入について
- 3 乗り支える仕組みとの連動について

(6) その他

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

- ・議題 (1) デマンドタクシーを休止する証明書の発行について

質疑なし

- ・議題 (2) 平成 29 年度歳入歳出予算の補正について

◎80 万円増額して使えるようになるということか。

●そのとおりです。環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業の補助金が採択されたため、当初予定していたバスマップだけでなく、公共交通利用促進啓発のチラシや冊子も作成する予定です。また、全町を挙げてこの事業に取り組むため、協議会ではなく町が直接実施します。そのため、資料のとおり補正としては協議会予算の減額になります。

◎啓発チラシは資料で確認できるが、啓発冊子はどのようなものか。

●現在業者と調整中です。

○バスマップを全戸配布すると運行ルート以外の住民から反発があるのではないかと。

●コミュニティバスは町外の方も含め、利用者を限定するものではないため、地区長連絡協議会からの意見を踏まえ、運行ルート以外の方へも周知と利用促進を含め全戸配布します。

○反発があっても今回のコミュニティバスの見直しに関心がある表れのため、良いことだと思う。

- ・議題 (3) 二宮町生活交通確保維持改善計画 (案) について

○目標乗車人数は現状から 2 倍の設定になっているが、利用促進の方策はどのように考えているのか。

●今回の見直しにあたり、分かりやすいルートやダイヤを設定したことと、利用促進として割引手形などの乗り支える仕組みを導入しました。なお、目標乗車人数である1日平均100人という数値は、二宮町地域公共交通計画に掲げている目標値で、以前からも達成できていないこの目標を、今回の見直しで改めて目指したいと考えています。

◎補助金はどの程度なのか。

●実績に基づいて申請を行うため、額が確定していません。

・議題（4）二宮町地域公共交通計画（中期施策素案）について

○地域住民交通協議会のメンバー構成について、車を使っていない、使えない方を協議会メンバーにする必要がある。

●モデル地区の参加者は地域で選定してもらいますが、車を使っていない方も含めたメンバー構成とするようお願いしていきます。

○地域住民主体の協議会なのか。デマンドタクシーの分析はする必要がある。コミバスはデータを取れると思うがどのような活用を考えているのか。地域に投げかけ地域と考えていく必要があると思う。

●デマンドタクシーの分析は重点プロジェクトBに位置づけ、富士見が丘・松根地区を対象に実施し、結果は今後の交通システムの研究に生かします。コミュニティバスは新しい車両で乗降場所の統計が取れる仕組みになっており、今後の見直し時にその乗降データを使って系統の増減やバス停の新設廃止などを検討します。

◎これまでよりデータが細かく取れるため、新しい交通システムの研究が行えると思う。

○デマンドタクシーの検証は大事なことだが、その中でも使う人の気持ちが大変なため、使った人たちの感想などを吸い上げられないか。

●そのような検証が実施できるよう検討します。

◎目標にコミュニティバスの乗車人数を設定しているがコミュニティバスに乗れば二宮町の地域公共交通は良くなったと言えるのか。

●まずはコミュニティバスの乗車人数を目標とし、目標の達成状況を見ながら地域住民交通協議会を通じて最適な交通システムを研究し、後期施策など今後につなげていきます。

・議題（5）乗り支える仕組みの導入について

◎まずは①コミュニティバスの愛称について案1と案2があるがどちらが良いか。案2はどのようなものがあるか。

●案2であれば、委員の皆様へ愛称の候補検討にあたり車両のデザインを提示する必要があります。10月1日までデザインを非公開の予定としているため、委員の皆様だけにお示しすることになります。

○案2がよいと思う。

○町民に愛されるバスとする必要があるため、案1で広く募集した方がよい。

○これまで他の案件でネーミング募集をしたことはあるか。

●平成 25 年に開園した公園の名称の募集を 1 か月程度行い、100 名程度応募がありました。

◎割引手形をニーノ手形、ミーヤ手形と決定した経緯はどうだったか。

●事務局案として協議会に示しました。

○案が 100 程度あった場合は投票に際して一覧を見るだけで大変ではないのか。

●手法は様々ありますので、検討します。

○親しみを持ってもらうために、運行時に募集の周知を行ったらどうか。見てもらうことが必要である。

○湘南にのみやふるさとまつりの際に名称の決定公表までを行ったらどうか。

◎広く町民から募集することによいか。

○構わない。

●広く公募を行い、名称決定をスムーズにするため、協議会への報告は事後報告として良いでしょうか。

○構わない。

○投票のやり方は工夫が必要と考えている。

◎具体的な手法は事務局に一任する。車内を活用した利用促進や臨時運行の意見に対する意見はあるか。

○臨時運行は持ち出しが増えることは理解した上での提案なのか。

●そのとおりです。割引手形もそうですが、持ち出しが増えることは想定していますが、まずは、乗ってもらうことが重要と考えており、利用促進として実施します。また、臨時運行日の検討にあたり利用が見込める日程を事務局案として示しています。

○湘南にのみやふるさとまつり等は臨時運行したらどうか。

●検討しましたが会場に自家用車での来場が多く付近が渋滞することから、ダイヤが大幅に乱れるため、断念しました。町民体育祭は影響が少ないため臨時運行に設定しました。

◎車内を活用した利用促進はどのようなものか。

●移動型展示ギャラリーをイメージしており、関係者の方の乗車を促進します。

・議題（6）その他

なし

以上